

自己評価及び外部評価結果

【事業所概要（事業所記入）】

事業所番号	1495400192	事業の開始年月日	平成23年12月1日
		指定年月日	平成23年12月1日
法人名	株式会社 日本アメニティライフ協会		
事業所名	花物語たま南		
所在地	(〒214-0036)		
	川崎市多摩区南生田4-25-16		
サービス種別 定員等	<input type="checkbox"/> 小規模多機能型居宅介護	登録定員	名
	<input type="checkbox"/> 認知症対応型共同生活介護	通い定員	名
		宿泊定員	名
		定員計	18名
		ユニット数	2ユニット
自己評価作成日	平成27年11月21日	評価結果 市町村受理日	平成28年6月30日

※ 事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先	
----------	--

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点（事業所記入）】

<p>花物語たま南は、小田急線百合ヶ丘駅から、バスで10分程でバス停から徒歩2分の場所にある施設です。周辺は住宅街ですが、開設から4年経っており地域住民との交流も出来てきています。</p> <p>花物語たま南は平成23年12月1日に認知症対応型共同生活介護と小規模多機能型居宅介護の併設施設として開設しました。「明るく・安心で・愛情のある」を理念にご利用者様の「個」を大切に支援を行なっています。</p>
--

【評価機関概要（評価機関記入）】

評価機関名	公益社団法人 かながわ福祉サービス振興会		
所在地	横浜市中区山下町23番地 日土地」山下町ビル9階		
訪問調査日	平成27年12月8日	評価機関 評価決定日	平成28年3月22日

【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点（評価機関記入）】

<p>【事業所の概要】 事業所は、小田急線新百合ヶ丘駅よりバスで約10分の幹線道路から少し入った静かな住宅地に立地している。事業所の裏側に市民農園があり、散歩時には農園にいる方々と会話を交わし、季節の移り変わりを楽しんでいる。同じ建物内に同一運営法人の小規模多機能型居宅介護事業所が併設されている。</p> <p>【運営推進会議を活かした取り組み】 運営推進会議は2か月に1回開催している。メンバーには地域代表、隣家の方、小規模多機能型居宅介護事業所の職員、利用者・家族などが参加している。事業所は運営内容や行事、外部評価結果について報告し、意見交換を行っている。</p> <p>【医療と看取りに関する指針の確立】 医師と看護師が連携を図り、安心して医療の受診や健康相談ができる体制にある。入居時に重度化した場合の対応指針を説明している。家族の理解と協力を得ながら、医療機関への入院を含めて、利用者にとって最善の方法を関係者間で共有している。</p> <p>【介護計画と介護サービスの実践】 個人ファイルは見開きにして、左ページに介護計画の課題や介助の内容、服薬、排泄面などを番号で示し、右ページに食事・水分摂取量、排泄状況を記し、生活の記録欄には日々の介護記録を時系列に番号で記入している。ファイルは常に閲覧できるように工夫し、実践につなげている。</p> <p>【家族へのおたより情報】 家族には毎月「たま南日和」を送付して、春の花見、夏の流しソーメン、事業所の夏祭りなどの行事報告を行っている。また、「一言通信」には、介護情報や看護師による定期往診時の健康状態を記載している。</p>
--

【地域密着型サービスの外部評価項目の構成】

評価項目の領域	自己評価項目	外部評価項目
I 理念に基づく運営	1 ~ 14	1 ~ 7
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援	15 ~ 22	8
III その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	23 ~ 35	9 ~ 13
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	36 ~ 55	14 ~ 20
V アウトカム項目	56 ~ 68	

事業所名	花物語たま南
ユニット名	1F

V アウトカム項目			
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	○	1, ほぼ全ての利用者の 2, 利用者の2/3くらいの 3, 利用者の1/3くらいの 4, ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1, 毎日ある 2, 数日に1回程度ある 3, たまにある 4, ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目：36, 37)	○	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目：49)	○	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
62	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている。 (参考項目：28)	○	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない

63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1, ほぼ全ての家族と 2, 家族の2/3くらいと 3, 家族の1/3くらいと 4, ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1, ほぼ毎日のように 2, 数日に1回程度ある 3, たまに 4, ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	○	1, 大いに増えている 2, 少しずつ増えている 3, あまり増えていない 4, 全くいない
66	職員は、生き活きと働けている。 (参考項目：11, 12)	○	1, ほぼ全ての職員が 2, 職員の2/3くらいが 3, 職員の1/3くらいが 4, ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1, ほぼ全ての家族等が 2, 家族等の2/3くらいが 3, 家族等の1/3くらいが 4, ほとんどいない

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	「明るく、安心で、愛情のある」を念頭にスタッフ同士で理念を確認し合いながら接するよう心掛けています。	事業所は「明るく、安心で愛情のある」を理念とし、玄関、1階事務室、厨房に掲示している。管理者は新入職員研修時に理念を説明し、職員は日頃の介護の中で理解を深め実践につなげている。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	施設内で行なわれる「夏祭り」や「流しソーメン」等の行事では近隣の方の参加があります。また、散歩中に近隣の方と挨拶をしたり、農作業中の方から花を頂くことがあります。	長沢自治会に加入し、回覧板が届けられる。事業所の夏祭りには、地域の方々や浴衣姿の職員の子どもたちも参加し、利用者と一緒に流しソーメンなどを楽しんでいる。ボランティアがフルーツ演奏やピアノ演奏に訪している。	地域行事への参加や近隣の学校、幼稚園・保育園などの施設との交流など、なお一層地域とのつながりに努めていくことを期待します。
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	運営推進会議や行事を通じて、交流することにより、認知症の理解が深まっています。		
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議の内容はフロアー会議や朝礼で報告し、その中での意見を参考に、よりよいサービスに繋がるように実践しています。外出の機会を増やしてほしい、との意見は反映されています。	運営推進会議は、2か月に1回開催している。メンバーには地域代表、隣家の方、小規模多機能型居宅介護事業所の職員、利用者・家族などである。会議では現況報告の後、地域からの情報や今後の予定などの意見交換を行っている。外部評価の結果も報告し、サービスの開示に努めている。	

5	4	<p>○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる</p>	<p>多摩区高齢支援課や地域包括支援センターへ運営推進会議のご案内を持参しています。管理者は川崎市集団指導講習会に参加しています。</p>	<p>管理者は多摩区高齢支援課に業務上の問題点などを報告し、相談をしている。要介護認定更新時には家族が申請し、家族に代わって立ち会うこともある。多摩区グループホーム連絡会に加入し情報の共有に努めている。</p>	
---	---	--	---	---	--

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	防犯上、玄関は施錠していますが、外出希望があった時は一緒に外へ出るようにしています。日常的に外に出る機会を作っています	職員は全体会議で身体拘束について勉強会を行い、正しい理解に努めている。玄関は小規模多機能型事業所と一緒に防犯上と安全面から家族の了解を得て施錠している。帰宅願望のある利用者には職員と一緒に外出し見守りをしている。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見 overs されることのないよう注意を払い、防止に努めている	利用者への対応が虐待にあたっていないか、常に意識して支援しています。また職員同士がお互いに声かけをしながら、虐待を見逃す事の無いようにしています		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	研修を行ない、その際に得た情報を共有しています		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約・解約の際はご家族の意向を確認し、不安や疑問点には十分な説明を行ない、ご理解いただいています。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	ご家族の面会時にご意見ご要望をお伺いしています。また、電話で近況を報告した際に要望の確認をしています。その中で、外出の機会を増やしてほしい、という要望があり、実践しています	運営推進会議や家族の来訪時に利用者の日頃の様子を説明し、意見や要望を聞いている。家族から「外出の機会を増やして欲しい」との要望があり、それを実践した写真を見ていただいた。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	毎月全体会議やフロアー会議を開いています。職員が互いに意見や提案を出し合い、検討を重ね運営に反映させています	管理者は月1回の全体会議やユニット会議、朝の申し送り時に職員の要望や意見を聞き、業務に反映している。職員から、喫煙の規則を作成して欲しいとの要望があり検討した。本部の担当者が個人面談を行い、職員の話をしている。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	管理者は個別面談を行ない、職員の意見を聞く場を作っています。その中で職員が自分自身で問題点・改善点に気づき目標を持って就業出来るようにしています。また働きやすい環境となるように常に気を配っています		
13		○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	法人内外の研修の案内を掲示し、必要に応じて研修への参加を促しています。研修に参加することにより、色々な気づきが生まれ、質の向上に役立っています		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている	多摩区グループホーム連絡会に参加しており、他事業所との情報交換の場となっています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	入居時のアセスメント・ケアプランを元に利用者との会話などから、早期に信頼関係が作れるように努めています。また要望は可能な限り実現できるように工夫しています		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	ご家族の不安な部分を解消できるように、対話の場を多く持つようにしています。その内容は会議等で職員にしっかりと伝わるようにしています		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	利用者が今、必要としているサービスは何か、生活上の問題は何なのかを見極めるようにしています。GHでの生活だけを選択肢としないように、併設の小規模多機能や他事業所との連携も取れています		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	利用者の意欲を引き出し、可能な限り家事への参加を促しています。その中で、利用者と職員が協力し合う関係づくりができています		
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	面会時には、利用者の日頃の様子を伝えるようにしています。ご家族とのコミュニケーションを大事にしながら、信頼関係を作り上げています		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	ご家族の協力の元、馴染みの美容院に通われている方がいます。また友人の訪問があった時には、楽しい時間が過ごせるような雰囲気作りをしています。	利用者は家族と一緒に馴染みの美容院や外食、墓参りに出掛けている。日帰り旅行を楽しむ方や誕生日には自宅へ帰り、家族と一緒に祝う方もいる。利用者の知人や友人が来訪し、居室やリビングで歓談する時はお茶を出すなどの支援をしている。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	行事や誕生会・レクリエーション等で利用者同士の交流が図れる場を作っています。職員が場を盛り上げたり、孤立しないように見守りをし、必要に応じた介入をしています		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	入院先にお見舞いに行ったり、退居後にご家族から現在の様子を聞くなど、今までの関係が途切れないようにしています		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	利用者の言葉に耳を傾け、また日々の生活の中で希望や意向を把握するように努めています。その内容を職員間で共有し、実践に繋げています	職員は日常の行動や表情の中から、利用者の意向や希望を汲み取るように努めている。意向を自分から伝えにくい方には、家族の来訪時に情報を得たり、入浴時の1対1でくつろいでいる時や夜間帯に話を聞き、個人の「生活記録」に記入して職員間で共有している。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	ご本人・ご家族からの情報を収集し生活歴や環境を把握するようにしています。また行動からも察することが出来ています		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	日々の生活の様子や、小さな変化なども生活記録に残しています。申し送りや連絡帳を使い、職員へ伝達することで現状の把握が出来ています		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	毎月のフロアー会議で個々のモニタリングを行なっています。また新たな課題が有るときには、緊急でカンファレンスを行ない意見交換をしています	入居前に自宅や病院を訪問し、利用者・家族と話し合っている。アセスメントを基に暫定計画を作成し、居室担当者とカンファレンスし医師の意見を聞いて介護計画を作成している。見直しは通常6か月毎に行っている。	

27	<p>○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている</p>	<p>小さな変化を見逃すことなく、記録に残しており、職員間で情報共有し、対応方法を話し合っています</p>		
----	---	---	--	--

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	利用者のADLや認知症の変化があった時は、随時ご家族との話し合いの場を持ち、ご本人に適したサービスで対応をしています		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	自治会の会員になっています。回覧板や近隣の方からの情報があり、町内のお祭り行事に参加しています。また音楽ボランティアがあり、楽しんでいただけています		
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	かかりつけ医による往診が月2回あります。特変時は的確な指示や早急な対応をして頂いています。歯科医は毎週往診し希望者への診察をしています。	本人や家族が希望するかかりつけ医を継続して受診できるように支援している。現在、全員が往診医の受診を受けている。緊急時は職員が家族に代わって通院介助することもある。医療情報は「診療報告書」に記入し共有している。	
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	日々の申し送りや記録等から常に医療連携看護師との情報共有を行なっています。必要時はいつでも連絡を取り合う事が出来、専門的な立場からのアドバイスもあります。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院時にご家族との連絡を密に行ない、利用者の現状を把握するようにしています。また退院時は環境整備をするなどで受入体制をつくっています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	契約時に指針についての説明をし同意を交わしています。また常日頃から重度化した場合の対応についてご家族と話し合う機会を作っています。	入居時に急変時や重度化した場合等における対応に係る指針を説明し、同意をもらっている。医師の指示のもとで、話し合い、利用者にとって最良と言える方法を関係者間で共有している。	今後の急変時や重度化に備え、職員の勉強会を行い、一層充実した終末期ケアに取り組むことを期待します。
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	急変時の対応についての研修を行ない、的確な対処が出来るようにしています。急変や事故報告を職員全員が情報共有することにより、万が一に備えています。		
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	災害対策セミナーに参加し資料を回覧しています。防災訓練は消防署立ち合いで行なっています。その際は近隣の方の参加もあり、避難者の見守り要員となって頂ける等の協力が得られています。	防災・避難訓練は年2回行い、うち1回は消防署の協力を得て夜間想定の実施している。訓練には近隣の方やオーナーの協力を得て、利用者の見守り役を頼んでいる。非常災害用の食料と飲料水は3日以上備蓄している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	利用者へは敬意を持って接するように心掛けています。言葉遣いにも注意を払っています。訪室やトイレ介入時には必ずご本人の同意を得るようにしプライバシーにも配慮して対応しています	職員は日頃よりプライバシーを損ねることのないように、丁寧な言葉かけを心掛けている。個人情報を含む書類は鍵のかかる書庫に保管している。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	常日頃から利用者との会話の中で、ご本人の望む生活を探りながら支援にあたっています。また誕生日にはご本人から希望する料理を伺い提供しています。外出行事での行き先も利用者に決めて頂いています		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたか、希望にそって支援している	利用者の意向を優先するようにしています。職員の押し付けにならないように、ご本人のペースを尊重しつつやる気ややりたい事の実現に繋がるよう対応しています		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	ご自身で洋服を選んで頂くように、また必要に応じて声かけをしています。「綺麗ですね」「さっぱりしましたね」等といった声かけをすることにより、身だしなみやおしゃれに関心を持てるようにしています。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	テーブル拭き・調理・食器拭き・下膳等、各自の得意な家事を手伝って頂いています。食事の際はメニューを伝え楽しい雰囲気作りをしています。	利用者はテーブル拭き、食器拭き、下膳などを手伝っている。職員は、食事介助に重点を置き、管理者が検食を兼ねて同じものを一緒に食事をしている。誕生日の昼食は希望を聞いてすしやハンバーグ、	

				ケーキなどで祝うなど臨機応 変に対応している。	
--	--	--	--	----------------------------	--

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	栄養バランスの取れた食事を提供しています。食事・水分摂取量は記録に残し適切な量となっていない場合は、他の料理を提供したり、ご本人の好みの飲み物にしたりと工夫しています		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	口腔ケアへの声かけを行なっています。見守りや介助が必要な方へは個別の対応をしています。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	排泄時間や量などを記録しています。排泄パターンを把握しタイミングを見計らって誘導したり、排泄間隔が長い方へはさりげなく声かけを行なっています。また、トイレの表示を工夫しています。	個人記録表の排泄欄により、パターンを把握し、トイレでの排泄に努めている。利用者が立ち上がるなど落ち着きがない様子から察知し、声かけをしている。排泄の自立している方は約3分1である。職員が見守りを重視した結果、利用者の放尿がなくなった例がある。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	なるべく薬に頼らないようにヨーグルトや牛乳を提供したり、運動や散歩などを促しています。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々に応じた入浴の支援をしている	バイタルや前日からの様子からご本人の体調を確認し、希望を取り入れながら入浴を勧める声かけを行なっています。入浴を拒否する方には、入浴時間を変更したり翌日にしたりと臨機応変な対応が来ています。	入浴は基本的には週2回で、夏場はシャワー浴や足浴を希望する方もいる。入浴を好まない方には、人や時間を変える工夫をしている。利用者の気持ちに寄り添う声かけとタイミングが大切と考えている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	体調を考慮し、居室で休んで頂く事もあります。フロアのソファや居室など、ご本人の意思を尊重し寛いで頂いています。日中は活動的に行動して頂くことにより、夜間の良眠が保たれています。		
47		○服薬支援 一人ひとりを使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	服薬時は職員のダブルチェックを行なって誤薬防止に努めています。服薬の変更等が分かりやすいように個別に記録しており、職員は薬の内容等も確認できるようになっています。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	洗濯物たたみや食器ふき、床掃除等、多くの日常家事に参加して頂けるように声かけを行なっています。また、編み物や玄関先での茶話会等をやることにより気分転換が来ています。		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	お天気の良い日は外出を心掛けています。法人の車で外出に出かけたり、買物に行ったりしています。またご家族とお墓参りや帰宅等もあります。	天気の良い日には、車イスの方も職員と一緒に事業所の周りを散歩している。職員と一緒に新百合ヶ丘駅方面に車で買い物へ行くこともある。春にはお花見や向ヶ丘のバラ園に遠出している。	
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	金銭管理は基本的に事務所でなっていますが、ご家族ご本人のご希望で少額のお金を持参している方もいます。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価		外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容	
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	利用者の要望があり、ご家族へ電話をかける事もあります。			
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	週一回、玄関やフロアに花を活け、季節感を出しています。また、散歩の時に近隣の方から頂いたお花を飾ることもあります。フロアの壁にはイベントの写真の貼ったり、利用者の手作りの作品を飾ったりして皆を楽しませています。	リビングは明るく、清潔に保たれている。玄関アプローチにはプランターに草花を植え、玄関フロアには「花守」さんが季節の花を活けている。クリスマスツリーや折り紙が飾られ、椅子には利用者が編んだ座布団カバーが敷かれて、居心地よく過ごせるように工夫している。		
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	利用者はフローアや居室を自由に行き来できるように見守っています。また楽しく談笑できるように環境を考えたり、独りになれる空間づくりもしています。			
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	ご家族の協力の元、利用者の使い慣れたものや家具や写真などを置いたり、居心地の良い空間作りをしています。また自分で編んだ座布団カバーを使っている方もいます。	居室にはベット、エアコン、照明器具、クローゼット、洗面台が備え付けてある。利用者は使い慣れたいすやテーブルなどの家具を置き、家族の写真飾り一人ひとりが居心地よく暮らしている。ふらつきのある人には人感センサーを利用して光と音で動きを感知している。		
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	利用者の出来る事、分かる事をしっかりと見極めながら対応しています。その中で、安全を第一に環境整備に努めています			

事業所名	花物語たま南
ユニット名	2F

V アウトカム項目			
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	○	1, ほぼ全ての利用者の 2, 利用者の2/3くらいの 3. 利用者の1/3くらいの 4. ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1, 毎日ある 2, 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目：36, 37)	○	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目：49)	○	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている。 (参考項目：28)	○	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない

63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1, ほぼ全ての家族と 2, 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1, ほぼ毎日のように 2, 数日に1回程度ある 3. たまに 4. ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	○	1, 大いに増えている 2, 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くいない
66	職員は、生き活きと働けている。 (参考項目：11, 12)	○	1, ほぼ全ての職員が 2, 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1, ほぼ全ての家族等が 2, 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどいない

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	「明るく、安心で、愛情のある」を念頭にスタッフ同士で理念を確認し合いながら接するよう心掛けています。		
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	施設内で行なわれる「夏祭り」や「流しソーメン」等の行事では近隣の方の参加があります。また、散歩中に近隣の方と挨拶をしたり、農作業中の方から花を頂くことがあります。		
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	運営推進会議や行事を通じて、交流することにより、認知症の理解が深まっています。		
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議の内容はフロアー会議や朝礼で報告し、その中で出た意見を参考に、よりよいサービスに繋がるように実践しています。外出の機会を増やしてほしい、との意見は反映されています。		
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる	多摩区高齢支援課や地域包括支援センターへ運営推進会議のご案内を持参しています。管理者は川崎市集団指導講習会に参加しています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	防犯上、玄関は施錠していますが、外出希望があった時は一緒に外へ出るようにしています。日常的に外に出る機会を作っています		
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見 overs されることのないよう注意を払い、防止に努めている	利用者への対応が虐待にあたっていないか、常に意識して支援しています。また職員同士がお互いに声かけをしながら、虐待を見逃す事の無いようにしています		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	研修を行ない、その際に得た情報を共有しています		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約・解約の際はご家族の意向を確認し、不安や疑問点には十分な説明を行ない、ご理解いただいています。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	ご家族の面会時にご意見ご要望をお伺いしています。また、電話で近況を報告した際に要望の確認をしています。その中で、外出の機会を増やしてほしい、という要望があり、実践しています		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	毎月全体会議やフロアー会議を開いています。職員が互いに意見や提案を出し合い、検討を重ね運営に反映させています		
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	管理者は個別面談を行ない、職員の意見を聞く場を作っています。その中で職員が自分自身で問題点・改善点に気づき目標を持って就業出来るようにしています。また働きやすい環境となるように常に気を配っています		
13		○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	法人内外の研修の案内を掲示し、必要に応じて研修への参加を促しています。研修に参加することにより、色々な気づきが生まれ、質の向上に役立っています		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている	多摩区グループホーム連絡会に参加しており、他事業所との情報交換の場となっています。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	入居時のアセスメント・ケアプランを元に利用者との会話などから、早期に信頼関係が作れるように努めています。また要望は可能な限り実現できるように工夫しています		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	ご家族の不安な部分を解消できるように、対話の場を多く持つようにしています。その内容は会議等で職員にしっかりと伝わるようにしています		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	利用者が今、必要としているサービスは何か、生活上の問題は何なのかを見極めるようにしています。GHでの生活だけを選択肢としないように、併設の小規模多機能や他事業所との連携も取れています		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	利用者の意欲を引き出し、可能な限り家事への参加を促しています。その中で、利用者と職員が協力し合う関係づくりができています		
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	面会時には、利用者の日頃の様子を伝えるようにしています。定期的に面会されるご家族もおられ、コミュニケーションを十分に取ることが出来、信頼関係を取る事ができています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	以前利用していた施設職員の訪問があり、居室で楽しい時間を過ごして頂いています。 ご家族様の面会があった時も、居室で談話して頂いています。		
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	行事や誕生会・レクリエーション等で利用者同士の交流が図れる場を作っています。職員が場を盛り上げたり、孤立しないように見守りをし、必要に応じた介入をしています		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	入院先にお見舞いに行ったり、退居後もご家族から現在の様子を聞くなど、今までの関係が途切れないようにしています		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	利用者の言葉に耳を傾け、また日々の生活の中で希望や意向を把握するように努めています。その内容を職員間で共有し、実践に繋げています		
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	ご本人・ご家族からの情報を収集し生活歴や環境を把握するようにしています。また行動からも察することが出来ています		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	日々の生活の様子や、小さな変化なども生活記録に残しています。申し送りや連絡帳を使い、職員へ伝達することで現状の把握が出来ています		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	毎月のフロアー会議で個々のモニタリングを行なっています。また新たな課題が有るときには、緊急でカンファレンスを行ない意見交換をしています		
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	小さな変化を見逃すことなく、記録に残しており、職員間で情報共有し、対応方法を話し合っています		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	利用者のADLや認知症の変化があった時は、随時ご家族との話し合いの場を持ち、ご本人に適したサービスで対応をしています		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	自治会の会員になっています。回覧板や近隣の方からの情報があり、町内のお祭り行事に参加しています。また音楽ボランティアがあり、楽しんでいただいています		
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	かかりつけ医による往診が月2回あります。特変時は的確な指示や早急な対応をして頂いています。歯科医は毎週往診し希望者への診察をしています。		
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	日々の申し送りや記録等から常に医療連携看護師との情報共有を行なっています。必要時はいつでも連絡を取り合う事が出来、専門的な立場からのアドバイスもあります。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院時にご家族との連絡を密に行かない、利用者の現状を把握するようにしています。また退院時は環境整備をするなどで受入体制をつくっています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	契約時に指針についての説明をし同意を交わしています。また常日頃から重度化した場合の対応についてご家族と話し合う機会を作っています。		
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	急変時の対応についての研修を行ない、的確な対処が出来るようにしています。急変や事故報告を職員全員が情報共有することにより、万が一に備えています。		
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	災害対策セミナーに参加し資料を回覧しています。防災訓練は消防署立ち合いで行なっています。その際は近隣の方の参加もあり、避難者の見守り要員となって頂ける等の協力が得られています。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	利用者へは敬意を持って接するように心掛けています。言葉遣いにも注意を払っています。訪室やトイレ介入時には必ずご本人の同意を得るようにしプライバシーにも配慮して対応しています		
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	常日頃から利用者との会話の中で、ご本人の望む生活を探りながら支援にあたっています。また誕生日にはご本人から希望する料理を伺い提供しています。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたか、希望にそって支援している	利用者の意向を優先するようにしています。職員の押し付けにならないように、ご本人のペースを尊重しつつやる気ややりたい事の実現に繋がるよう対応しています		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	ご自身で洋服を選んで頂くように、また必要に応じて声かけをし、身だしなみやおしゃれに関心を持てるようにしています		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	テーブル拭き・片付け等、各自の得意な家事を手伝って頂いています。食事の際はメニューを伝え楽しい雰囲気作りをしています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	栄養バランスの取れた食事を提供しています。食事・水分摂取量は記録に残し適切な量となっていない場合は、他の料理を提供したり、ご本人の好みの飲み物にしたりと工夫しています		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	口腔ケアへの声かけを行なっています。見守りや介助が必要な方へは個別の対応をしています。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	排泄時間や量などを記録しています。排泄パターンを把握しタイミングを見計らって誘導したり、排泄間隔が長い方へはさりげなく声かけを行なっています。		
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	なるべく薬に頼らないようにヨーグルトや牛乳を提供したり、運動や散歩などを促しています。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々に応じた入浴の支援をしている	バイタルや前日からの様子からご本人の体調を確認し、希望を取り入れながら入浴を勧める声かけを行なっています。入浴を拒否する方には、入浴時間を変更したり翌日にしたりと臨機応変な対応ができています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	体調を考慮し、居室で休んで頂く事もあります。フロアのソファや居室など、ご本人の意思を尊重し寛いで頂いています。日中は活動的に行動して頂くことにより、夜間の良眠が保たれています。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	服薬時は職員のダブルチェックを行なって誤薬防止に努めています。服薬の変更等が分かりやすいように個別に記録しており、職員は薬の内容等も確認できるようになっています。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	洗濯物たたみや下膳等の日常家事に参加して頂けるように声かけを行なっています。また、玄関先での茶話会等をやることにより気分転換が来ています。		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	お天気の良い日は外出を心掛けています。法人の車で外出に出かけたり、買物に行ったりしています。またご家族とお墓参りや帰宅等もあります。		
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	金銭管理は基本的に事務所でなっていますが、ご家族ご本人のご希望で少額のお金を持参している方もいます。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	利用者の要望があり、ご家族へ電話をかける事もあります。		
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	週一回、玄関やフロアに花を活け、季節感を出しています。また、散歩の時に近隣の方から頂いたお花を飾ることもあります。フロアの壁にはイベントの写真を貼ったり、利用者の手作りの作品を飾ったりして皆を楽しませています。		
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	利用者はフロアや居室を自由に行き来できるように見守っています。また楽しく談笑できるように環境を考えたり、独りになれる空間づくりもしています。		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのもをを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	ご家族の協力の元、利用者の使い慣れたものや家具や写真などを置いたり、居心地の良い空間造りをしています。		
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	利用者の出来る事、分かる事をしっかりと見極めながら対応しています。その中で、安全を第一に環境整備に努めています		

目 標 達 成 計 画

事業所名 花物語 ぽよ南ナースウ

作成日 平成28年6月27日

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目 標	目標達成に向けた具体的な取組み内容	目標達成に要する期間
1	2	地域行事への参加や近隣の学校、幼稚園・保育園等の施設において地域との交流などに努める。	地域の行事を把握し参加につなげる。また施設内イベントの情報と地域の方へ発信する。	季節の祭りに参加する。施設内イベントの内容をポスターや手紙でお知らせする。	1年
2	33	急変時や重度化に備えた職員の理解を深める。	異常の早期発見ができ、急変時や重度化に際して適切な対応ができる。	勉強会を行ない適切な対応ができるように指導する。スタッフ同士のコミュニケーションを深にし、全員が入居者様の現状を把握する。	1年
3					
4					
5					

注) 項目番号欄には、自己評価項目の番号を記入すること。
 注) 項目数が足りない場合は、行を追加すること。